

**フブ・服部の中国通信****中国の方からの頼まれ物！**

ご無沙汰しております。早いもので2014年も折り返しに近づき、またしても月末まで放置していた本メルマガに気づき慌ててキーボードと格闘する、相変わらず成長のない服部です。それでは今回もよろしくお願ひします

**「江西 AG-98」とってもいい感じですよ！！**

今回いくつかの工場で「江西 AG-98」を見ました。価格が高騰した「G614」や「AG-98」の代替として期待する一番手の石ですが、弊社メイン工場のものが最も色が濃く綺麗に感じました。以前の「AG-98 本丁場」の石と比べても遜色ない感じで、価格差を考えると「AG-98 本丁場」の石をわざわざ使用する意味合いは薄れてきたように思います。(吸水も変わりないです) 出始めの「江西 AG-98」は黄色がかった石も多少ありましたが、この工場で生産しているものは青味が強く、黄色がかったものや薄いものはなく「江西 AG-98」のイメージが一変しました。是非お試しください！！

最近の中国の丁場は大鋸で採石しているところが多く、この石も2面スラブの状態に入荷しているので、工場も色合いや欠点を見つけやすく、検品しやすい状態で購入できています。故意に安い原石を買い付けるなどしない限りは品質が大きくブレることはないと思います。

ただ、康美地区の工場や南安地区の工場で見つた「江西 AG-98」は明らかに色が薄かったり、黄色がかっていたりしたので、原石の購入先や価格で違いがあるのだと思います。

出始めの頃と違い、工場サイドにも採石状況や石の状態に関する詳しい情報がかなり入り始めているようで、品質で買うところ、価格で買うところと、購入の仕方にもそれぞれに色が出始めている様子です。我々貿易部としましても工場ごとの石質状態の把握をしっかりとするとともに、細かな情報をお客様に提供できるよう頑張ります。



(弊社メイン工場「江西 AG-98」外柵親柱。色がよい！！)

## ちょっと一休みネタ！ タイトルは、副業：購入代行！

今回は部下思いの上司 M 本がネタを提供してくれましたので、ありがたく使わせていただくことにします。私も貿易部員は、日中間を行き来する機会も多く、中国の取引先の方から購入代行を頼まれることがあります。最近は頻度が増えてきて、副業？のようになっていきます。

副業といっても利益ゼロ、手間賃ゼロ（たまに面倒なので振り込み手数料をもういいよ、と要求しない事もあり）のまったくのボランティアですが・・・

特に中国の方からは、本当に「どこで調べてきたの、それ？」というようなバラエティに富んだ物を頼まれます。

### 中国の方からの頼まれ物 人気ベスト8

- 1位……ピップマグネルフ
- 2位……粉ミルク
- 3位……サントリー グルコサミン&コンドロイチン
- 4位……正露丸
- 5位……救心
- 6位……マイルドセブン
- 7位……オロナインH軟膏
- 8位……シャチハタ ホワイトボードマーカー …等々

#### 1位はダントツのピップマグネルフ

私のような重度の肩こり持ちには効いているのか効いていないのか・・・というような磁気ネックレスですが、福建省での人気は絶大！ とても喜ばれます。

上司の M 本などはこれだけで100個以上は持ち込んでいるとか・・・さすが師匠、桁が違います。



#### ↑これです。

デザイン的にもそれほど邪魔にならないので一時愛用していましたが、いかんせん肩こりが酷すぎました・・・い、いいえ、決して仕事のストレスがひどくてなどと言っているわけではありませんので、査定は下げないで下さい。お願いします（汗）

#### 2位にランクインしたのは粉ミルク

スーツケースの場所を取った、という意味ではこれが1位でしょうが、中国の粉ミルクの値段・・・日本の倍はします。驚くほどに高いです。しかも安心できない。という訳で、安い上に日本の商品だという安心感もあるのか、これもとても人気です。

### 3位はグルコサミン&コンドロイチン

あれです、関節痛に効くという・・・今のところ関節痛等の悩みはありませんが、おかげさまで購入先だけはばっちり把握しております。

と、このあたりが上位ですが、私などは頼みやすいのか、先方にも変人認定されているのか、アマチュア無線の受信機。(大きい! 重い!) 生まれてくる子供の性別に影響を与えられる、という栄養素を含んだ栄養剤(どこで調べてきたのそれ??)といった変り種が多い傾向にあります。

ちなみに日本側からの頼まれ物は、1位サンプル、2位クレーム交換品至急分、3位ノベルティー用のストラップ、といった所でしょうか。さすが日本の方は真面目です。(でも重い・・・)  
なお、同僚は最大で墓誌一枚持って帰ってきたことがあるそうです。すごいですね(汗)

いかがでしたでしょうか?

貿易部のスーツケースが必要以上に大きかったりするには、実はこういう理由があったのです。決して私物を大量に持ち込んでいるというような事はありませんよ、念のため。

それでは今回はこのあたりで、また来月お会いしましょう。再見!

2014年6月 服部